

ほっと

NPO法人 ほっと会報

〒590-0048

堺市堺区一条通19-13 上栴ビル2階

☎ 072-228-3011 FAX 072-228-3012

E-mail npo-hot@nifty.com

NO. 86 発行: 2026年 (令和 8 年) 10月20日



社会福祉法人「こころの窓」 あおいとりのおかし 地域に根づき、開設3周年♪

社会福祉法人「こころの窓」が、北野田駅近くで「おかしのお店」(就労継続支援B型事業)を開設して3周年になるこのことで寄せて頂きました。

たちでデザインしたとのこと。

地域のお店をつつ

淡いブルー一色の壁面に小さく“あおいとりのおかし”と書かれたメッチャお洒落な感じのお店です。お聞きすると、責任者の若いNさんが、みんなでお話ししながら、「可愛く、おしやれに」と、自分



青色の壁が目印

米粉シフォンや焼菓子が多数品揃え

北野田駅
徒歩3分

お店に入って直ぐにお菓子の「売り場カウスター」があり、商品ケースには、クッキーなどが並べられています。地域の方もよく買いに来られます。駅前なので、飲み屋に行く前に立ち寄って「お菓子」を手土産にしているくいくおじさんもおられるとのこと。地域に根づいたお店ですね。

お店の売り場の裏(バックヤード)が、お菓子作りの作業場です。決して広くないお店なので、まず「利用者の働く場」・作業場を確保し、「売り場」

「商品力」が第一！ 商品の「見せ方」も

は必要最小限の広さにしたとのこと。



お店を開設し販路開拓へ♪

なので「外からのデザイナーに頼むのは違う」と思い、自分たちでやりました」とNさん。その結果、あおいとりのおかしの商品には、「1から10まですべて手作り」などの言葉を添えたパッケージになりました。商品の裏シールに、小さく「製造者・こころの窓」と表示してあるのみです。また、リーフレットには、キッチンカーのイラストを添えて「カラダにやさしい小さなお菓子屋さん」と。しなやかな感覚で、可愛くおしやれです。

「一般の商品」でと言っても、現実問題は

「販路の開拓」をしないと成り立ちません。そこで、催事販売(イベント時)を一つ一つ積み重ねて、認知度を上げる努力をしました。一週間借りる「ブース」の飾りつけもおしやれにとみんなで工夫。そこで出会った方から繋がっていききました。そうした中、買って頂いたお客さんから、「このお店はどこにあるの?」と聞かれるようになった。やっぱり、「美味しい!」と言ってもらえる「商品力」が大事ですね。このお店を開いたことで、地域を中心に固定客ができてきました。

全員が全工程をやれるように!

当初は、各工程を分業でやっていました。しかし、毎日毎日同じ工程だけをやっていても面白くないのではな

(裏面に続く)

(表面から続く)

いかと思ひ、一人一人の成長や、達成感を考えて全員が全工程をやるようにしていきました。それぞれの得手、不得手も考えながら。今は、利用者の活力を感じます。時間がかりましたが、良かったと思います。

もう一つ、ここではこの作業場からお店の売り場が見えます。お客さんの声が聞こえ、姿を感じます。やりがいを感じていると思います。

また一日の作業時間を効率よくしようと、お菓子作りで空いた時間には、みんなでパッケージや袋づくりなど一日継続して働いています。

この3年 みんなで成長



●パティシェの職員は

ここまで勢いでやってきました。やっと落ち着いた感じです。お客さんからも地域の人からも知ってもらえるようになって嬉しい。



揃いの作業服で作業する利用者

3周年記念の時には、SNSで情報収集された方のご来店が多かったですし、地元の常連客の方もご来店頂き会話が弾みました。ありがたいです。みんなで努力してきたので、お菓子の生産量も品数も増えました。利用者一人一人ができることも増えました。お互いに成長してきたようで嬉しいです。

当初は自宅やグループホーム（GH）から施設の

送迎バスで来てもらっていました。しかし、自力通所を目標にして練習し、今では5人全員が自力（電車、バス）で通所できるとなりました。しかし、この通勤費用は障害者割引があるものの、自己負担になっていきます。何とかならないかと思ひます。送迎バスの時は、公費でいけていたのに。

みんなが「うん」にも

この6月には、一日お店も閉めて、久しぶりに遠出の外出をしました。USJです。みんな大喜びでした。特に、行く前は期待感なのか、モチベーションが上がって、楽しそうに話していたのが印象的です。

ただ、帰ってきたら、疲れと満足感なのか、あまり話題にせず、次の事に関心が行っていました。

●利用者

みんなと楽しくお仕事をしています。一番好きです。洗い物も好きです。

ケアホームおおはま夏まつり開催♪

8月13日午後から、ケアホームおおはまとして、初めての夏まつりを開催し、みんなで楽しみました♪



会場の第二おおはま作業所食堂は、河内音頭が流れる中、唐揚げ、フランクフルト、たこ焼きなどが食べ放題♪腹いっぱいになってみんな笑顔です。

特に、スイカ割りには、目隠しした仲間に、“あっちや● こっちや●”とワイワイ言いながら盛り上がりました。

その後、みんなで美味しいスイカを満喫しました♪

“住み慣れたこの街で暮らしたい！グループホーム（GH）建設のための募金活動をお願いします。”とケアホームおおはまの仲間が、8月13日午前、「手作りの募金箱」で呼びかけました。直射日光を避けて西口で行いましたが、みんなで元



西口駅

グループホーム建設の募金活動をしました

気よく訴えると、「堺の実家のおばあちゃんのところに行くところ、頑張つてね」と。「やっぱり住み慣れたところで住み続けたいの思いは誰も同じ、当然です。頑張つて下さい」と笑顔で募金に協力してくれました。

【参加した仲間】

「いっぱい入れてもらった」「暑かった」「グループホームのことを知らない人が多い」と語ってくれました。

【職員は】

・この取り組みは、募金を集めることとともに、市民に知って貰うことを大事にしたいと思っています。